

9月14日(木) 沖釣り同好会

9月14日(木)、イナワラ(イナダ・ワラサの略)&真鯛五目での好漁を期待して総勢5名と、仕立て船(孫武丸)ギリギリでの少人数ながら一路三浦半島の松輪間口港に向かう。

早朝5時前に港に集合し6時の出船を待ちながら各人各様に準備に余念なく徐々に本番を待つ。連日のワラサ船の釣果を見るも厳しい報告が多く、好漁は期待できないが回遊魚でもあり、何が起こるか分からないと淡い期待を持ちながら現場に向かう。

何故か漁場は地場の剣崎でなく久里浜沖に向かい20分ほどで到着。既にワラサ船が多数ポイント確保にひしめく中で船長が目指すポイントに落ち着くと同時に一斉に長さ6mの仕掛けを落とす。右舷艫で1本上げたが、他は沈黙が続く中で外道だが40cm程の大型の鯆が上がり始め、本命のワラサの通り道での出会いを待つ。船長が痺れを切らしポイントを移動するため竿を上げる。

周りの船も同様の動きがあり、次のポイントまでは暫し小休止しながら作戦を練り直す。3回目のポイント移動で新たに2本を上げるが結局5人中3名が65cm前後で4kg前後の良型を1本ずつ、計3本で、他2名は残念ながら本命のワラサには逢えずじまい。とは言え、大型良型の鯆を数匹交えて夕飯のおかずを確保できて取り敢えず一安心でした。

来月は太刀魚を釣行の予定です。

石原

